



HANDMADE

ジャムキッチンタータン



ジャムキッチンタータン  
山谷 真理子さん

手間暇かけて、心を込める。  
一つずつ手作りする絶品ジャム。

イベントや市内数か所のお店で販売をしているタータンのジャム。真理子さんが販売、お父さんが畑、お母さんがジャム作りという担当で、3人で切り盛りしている。なるべく天理市内や奈良県各地から仕入れている減農薬・有機栽培のいちご・ブルーベリー・いちじく・レモン・ぶどう・みかん・梅など、年間15種類ほどの果物がジャムとして店頭と並ぶ。添加するのは砂糖のみで、保存料なども使わない。「手作りのジャムが画一的に作られた製品と違うこと、天理でおいしい果物がとれることを知ってもらえたら嬉しいです」と真理子さんは話してくれた。

AGRICULTURE

南檜垣営農組合



南檜垣営農組合 代表理事組合長  
松井 義憲さん

集落の農地は集落で守り、  
親子三代が暮らせる村へ。

「南檜垣営農組合」は平成18年に設立した農事組合法人。遊休地が増え、後継者が減り続けていく中で、組合員で協力して米・小麦・大豆を中心に作付けし、地域の農家・景観・コミュニティを守ろうと取り組んでいる。「たくさんの人に食べてもらえる米を作ろう」と、農業や化学肥料の使用をできるだけ抑え、環境に配慮しながら「やまとひみこ米」を作った。子ども向けの体験イベントも行なっている。「若い世代に引き継いでいき、女性が頑張れる組織にしていきたい。そしてもう一度、親子三代が暮らしていける村にしていきたい」と松井さんは話してくれた。

BEAUTY

森田アロエ本舗



森田アロエ本舗  
森田 拓司さん

アロエを通じて、関わる人が  
幸せになる商いを。

「森田アロエ本舗」は、アロエをハウス栽培し、生葉を粉末や錠剤のサプリメントにしたり、オリジナルハンドクリームなどの化粧品にしたり、加工・小売まで行う6次産業の商店だ。「関わる人が幸せになる商いを心がけています。それによってお得意さんが増えてくれればいい。個人商店には退職金はありませんが、お得意さんの存在が退職金みたいなものだと思ってます」と森田さんは笑う。そして、「天理のまちは天理教信者の方々が日々掃除をしてくれているからきれいで美しいです」と教えてくれた。ぜひ、天理の美しさにも注目してほしい。

MUSIC

天理大学 雅楽部



天理大学 名誉教授  
雅楽部 前顧問  
佐藤 浩司さん

世界中の音楽が和えられて生まれた、  
奏で、歌い、舞う、日本の雅楽。

雅楽とは、5世紀ごろにアジア各国から日本にもたらされた音楽と日本古来の音楽が和えられて平安時代に生まれ、今なお受け継がれている音楽である。天理大学に雅楽部ができたのは1951年。それから40年以上に渡り雅楽の指導をきたされた佐藤さんだ。佐藤さんは雅楽の魅力を「世界中の音楽が集約された総合芸術としての一面」と「経過音のあり方」だと話す。経過音とは、笛のような楽器「篳篥」で「ラ」から「ド」に音をあげる時に出る、「ラ」でも「シ」でも「ド」でもない間の音のこと。雅楽を聴くときは、この経過音に耳を澄ましてほしい。



てんりびと  
iki iki tenribito

天理を  
盛り上げる  
元気な人々

知らない土地に友だちができると、その周辺のことも知りたくありませんか？  
人を知ることは、土地を好きになる第一歩。  
ここでは、天理を盛り上げる魅力的な人たちをご紹介します。

MUSIC

天理シティーオーケストラ



天理シティーオーケストラ  
常任指揮者  
安野 英之さん

世界の仲間が帰る場所をつくり、  
天理を日本のウィーンに。

「天理シティーオーケストラ」は2001年創設のアマチュア・オーケストラ。約40名の団員と、天理市内外で演奏会を行い、家族向けのコンサートを開くなどしている。実は天理は音楽のまち。天理高校の吹奏楽部は全国コンクールで金賞をとる名門、天理教にもオーケストラがあり、人々がクラシックに馴染む土壌があるのだ。世界で活躍する天理出身の奏者も多数。安野さんは「仲間たちが帰ってこれる場所をつくりたい。そして、天理をオーストリアのウィーンのように、世界から認知される音楽のまちにしていきたい」と、その大きな夢を教えてくださいました。

SPORTS

天理大学 柔道部



天理大学柔道部 監督  
穴井 隆将さん

多様性を認め、日本一奪還を誓う。  
地域に愛される柔道部。

穴井さんは天理大学の出身。2010年に世界柔道選手権大会で優勝し、2012年にはロンドン五輪日本代表にも選ばれた選手だ。2014年に天理大学柔道部監督に就任。以来、100名の部員たちと共に考え、汗を流している。同柔道部は1925年に創設。現在、関西では20連覇中だが、日本一からは25年間遠ざかっている。ゆえに、「日本一奪還」を穴井さんは誓っているのだ。そんな穴井さんの哲学は、多様性を認めることにある。「多様な人がいる中で同じ目標に向かうために必要なのは信頼。天理の応援してくれる人たちのためにも頑張ります」と力強く話してくれた。

HISTORY

石上神宮



石上神宮 権禰宣  
市村 建太さん

あまねく人々の平穏を願い、  
若者と神社をつなぎ直す。

魂や命を司る、日本最古の神社の一つ石上神宮。ここで権禰宣を務める市村さんは、日々、神道の教えである「清く」「明るく」「正しく」「直く」の通りに勤めを行い、人々の平穏を願っている。一方で、天理の周遊観光促進イベントの実行委員長を担い、青年会議所にも加わって地域活動にも参加している。そこには、神社や地域から離れてしまった若者との接点をつくりたいという思いがある。今後「つなぎ役」として活動し、4年後の40歳の区切りと同時に、得たものを社会に還元するステージに進むつもりだと、望む未来を話してくれた。

ACTIVITY

サロンドキッズ



NPO法人  
サロンドキッズネット 理事長  
矢田 紫真子さん

つながりを生み、  
見守り合いの連鎖をつくる。

「サロンドキッズネット」は子育てが楽しくなる家庭づくりや地域づくりをサポートするNPO法人。「子育てサロン」「出前保育」「世代間交流」「情報発信」といった活動を行っている。矢田さん自身、「子育てに悩む日々が育児教室に参加したことで救われた」という体験をした3児の母。今では、7名のスタッフと約37人のボランティアのメンバーたちと共に、子育てに悩むお母さんに体験や助言を提供し、つながりを生みかけづくりをしている。「行政とお母さんのパイ役になって、見守り合いの連鎖をつくっていきたい」と矢田さんは笑う。



## Megumi Meguru Tenri

This place has been “A Home”,  
Long before a country was born,  
Where history and Nature’s gifts  
Have constantly come and gone.  
The sound and beautiful city, Tenri.